

西

～にし～
Good News

府中けやきの森学園「とうきょう総文2022プレ大会に参加」

12月12日（日）、知的障害教育部門の高等部和太鼓部員14名が、第46回全国高等学校総合文化祭東京大会（とうきょう総文2022）郷土芸能部門プレ大会で演奏を披露しました。

コロナ禍のため4月から9月までの期間は、学校での部活動ができない日々でしたが、2年生、3年生は家庭等で自主練習に励むとともに、部活動が再開した10月からは、産業現場等における実習と和太鼓の練習を両立させながら頑張ってきました。また、1年生は10月の入部からプレ大会までが約1か月という短いスケジュールでしたが、先輩たちと一緒に舞台に立つことを目標に、放課後や土曜日の練習に一生懸命取り組みました。

プレ大会当日は、「一生懸命生きる」という強いメッセージが込められた「生命の詩（いのちのうた）」を演奏しました。大きな舞台、まぶしい照明に緊張しながらも、練習してきたことを一つ一つ思い出し、みんなで力を合わせて複数のリズムを複雑なパートで構成する難しい曲を見事に演奏することができました。



力強い叩き出しの様子

和太鼓部は、今年8月に開催される「とうきょう総文2022」本大会に向けて、ますます練習を頑張ります。応援よろしくお願ひします。（主幹教諭・吉岡 美佳）



和太鼓部14名による「生命の詩」の演奏の様子

